- (1)主題名 人間の強さと気高さ,生きる喜び 〔中学校3-(3)〕 関連項目〔1-(5)〕
- (2)ねらい 人間としての弱さや醜さを自覚させ,それを謙虚に反省し,人間として生きる喜びを見いだし,向上しようとする心情を育てる。
- (3)資料名 「足袋の季節」(出典:明日をひらく3 東京書籍)

資料の概要

筆者が少年の頃,貧しさと寒さに追いつめられ,大福売りのおばあさんから,釣り銭をかすめ取り,足袋の代金にしてしまう。おばあさんの「ふんばりなさいよ。」の一言が,足袋を手に入れることしか頭になかった筆者の心を大きく揺さぶる。その後,自責の念に駆られた筆者は初めて月給をもらっておばあさんに償いをしようと訪ねるが,そのおばあさんは既に亡くなっていた。

(4)学習指導過程

導 起する。 ・一昔前は靴下代わりにはいていた ・着物を着た時にはくもの 袋がほしい」というだちを理解させるため 導入。 実物又は写真の提示 教師の範読 ・な気持ちだったか。 ・しめた。これで足袋が買えるぞ ・貧しいおばあさんを騙していいのか ・ばれたらまずいなあ 私が苦しみ続けたのはどうしてだろうか。 ・おばあさんをごまかして後悔の念が 残っていたから ・甘い考えで、過ちを犯した自分に腹が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私に対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私に対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし、過ちを用り返してはいけない ・過ちを一度と繰り返してはいけない ・これから精一杯生きていってほしい 今までの生活の中で、自分の心の弱 機がほしい」というできを理解させるたが導入。 教師の範読時代背景や当時(192 初の気候についての説を持つている。 が立ったからおばあさんをごまかして後悔の念がでいる。 ・おはあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし、過ちを一度と繰り返してはいけない。 ・過ちを一度と繰り返してはいけない。 ・これから精一杯生きていってほしい 今までの生活の中で、自分の心の弱 し、自己の向上に努いる作者の気持ちでいならせる。 (ワークシートに記入がある)		·)子首拍导则性		т
 資料の世界を想起する。 一昔前は靴下代わりにはいていた・着物を着た時にはくもの 登料「足袋の季節」を読んで話し合う。 私は「うん」とうなずいたとき、どんな気持ちだったか。・しめた。これで足袋が買えるぞ・貧しいおばあさんを騙していいのか・ばれたらまずいなあ私が苦しみ続けたのはどうしてだろうか。・おばあさんをごまかして後悔の念が残っていたから・甘い考えで、過ちを犯した自分に腹が立ったから・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私にくれた心とはどんな心か。・温かい励まし・過ちを忘れられないったから精一杯生きていってほしい今までの生活の中で、自分の点持ちで、じ取らせる。(ワークシートに記入る)自身に向けてまたことはないだろうか。・先生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある 				
上できる。		1 「足袋」から	「足袋」について何か知っているか。	主人公の「どうしても足
 ・ 着物を着た時にはくもの 導入。 実物又は写真の提示 教師の範読時代背景や当時(192頃)の貧しい生活。 ・ 首いおばあさんを騙していいのかいばれたらまずいなある。 ・ おばあさんをごまかして後悔の念がでいたからいまが立ったからいるが表っていたからではあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからがあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・ 温がい励ましいはいけないのでもある。 ・ 温がい励ましいの弱けを持ちを変した自分に腹が立ったからがある。 ・ おばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・ 温がい励ましいの場がらそれの向気持ちを変したの方にはいけないないからがあましたのからに関するによどの方にはいけないがあまた。 ・ これから精一杯生きていってほしいの子のの向気持ちを変したしまったことやいってはいけではないだろうか。からによいによるがある。 ・ た生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある。 	導	資料の世界を想		袋がほしい」という気持
大		起する。	・ 一昔前は靴下代わりにはいていた	ちを理解させるための
実物又は写真の提示	λ		・ 着物を着た時にはくもの	導入。
要節」を読んで 話し合う。 ・しめた。これで足袋が買えるぞ・貧しいおばあさんを騙していいのか・ばれたらまずいなあ 私が苦しみ続けたのはどうしてだろうか。 ・おばあさんをごまかして後悔の念が 残っていたから ・甘い考えで,過ちを犯した自分に腹が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったから おばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない っまでの生活の中で,自分の心の弱さに負けてしまったことや,打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認めないで人のせいにしたことがある ・				実物又は写真の提示
要節」を読んで 話し合う。 ・しめた。これで足袋が買えるぞ・貧しいおばあさんを騙していいのか・ばれたらまずいなあ 私が苦しみ続けたのはどうしてだろうか。 ・おばあさんをごまかして後悔の念が 残っていたから ・甘い考えで,過ちを犯した自分に腹が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったから おばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない っまでの生活の中で,自分の心の弱さに負けてしまったことや,打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認めないで人のせいにしたことがある ・		2 資料「足袋の	私は「うん」とうなずいたとき,ど	教師の範読
・貧しいおばあさんを騙していいのか・ばれたらまずいなあ 私が苦しみ続けたのはどうしてだろうか。 ・おばあさんをごまかして後悔の念が 残っていたから ・甘い考えで,過ちを犯した自分に腹 が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったから おばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない・これから精一杯生きていってほしい 今までの生活の中で,自分の心の弱さに負けてしまったことや,打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認めないで人のせいにしたことがある		季節」を読んで	んな気持ちだったか。	時代背景や当時(1920年
・ばれたらまずいなあ 私が苦しみ続けたのはどうしてだろ うか。 ・おばあさんをごまかして後悔の念が 残っていたから ・甘い考えで,過ちを犯した自分に腹 が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かっ た」という気持ちを忘れられなかっ たから おばあさんが私にくれた心とはどん な心か。 ・温かい励まし ・過ちを一度と繰り返してはいけない ・これから精一杯生きていってほしい 今までの生活の中で,自分の心の弱 さに負けてしまったことや,打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認 めないで人のせいにしたことがある 説をする。 人間は誰だって弱いを持っている。 (共感・表見の念はいつまで、現り続けていること。 はの合えばいいる。 ・過ちを悔い,謙虚にいいる作者の気持ちをいる。 「ワークシートに記入る。) 自分自身に向けてきさせる。 (ワークシートに記入る。)		話し合う。	・しめた。これで足袋が買えるぞ	頃)の貧しい生活,北海
展 開			・貧しいおばあさんを騙していいのか	道の気候についての解
を持っていることを			・ばれたらまずいなあ	説をする。
・おばあさんをごまかして後悔の念が 残っていたから ・甘い考えで、過ちを犯した自分に腹が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったから おばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない・これから精一杯生きていってほしい今までの生活の中で、自分の心の弱さに負けてしまったことや、打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある			私が苦しみ続けたのはどうしてだろ	人間は誰だって弱い心
展開 現立ではいたから ではいきを記した自分に腹が立ったからではいう気持ちを忘れられなかったからではいう気持ちを忘れられなかったからではいいがある。 おばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 で温かい励ました過ちを二度と繰り返してはいけないでもので、自分の心の弱いのはでもでで、自分の心の弱いでもでで、自分の心の弱いでもでで、自分の心の弱いでもでで、自分の心の弱いでもでで、自分の心の弱いでもでで、自分の心の弱いでもではないだろうか。 で、生生を友達に注意されて、素直に認いないで人のせいにしたことがある ではないで人のせいにしたことがある の立場からそれぞれ 見を出させたい)後悔の念はいつまで、自覚させる。 し、自己の向上に努力をしている。 はないでもので、自分の心の弱いをせる。 はないで人のせいにしたことがある の つ立場からそれぞれ 見を出させたい) 後悔の念はいつまで、 はの方を悔い、謙虚にして、 自己の向上に努力を している でしている ことである の立場からそれぞ、 見を出させる。 はないないが、 はいる作者の気持ちないとはないだろうか。 もはないだろうか。 もはないでもないでは、 はいつまで、 はないでもないでは、 はないでもないでは、 はいつまではないでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつまでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいいっとはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいつきをはないでは、 はいいのでは、 はいいのものでは、 はいいのでは、 はいいのではいいのでは、 はいいのではいいのではいいいのでは、 はいいのではいいいのではいいいいのではいいのではいいいのでは、 はいいのではいいいのではいいのではいいいのではいいのではいいいいいのではいいいいいいのではいいいいいいのではいいいいいいのではいいいいいのではいいいいいいいい			うか。	を持っていることを気
・甘い考えで、過ちを犯した自分に腹が立ったからであばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからがはあさんが私にくれた心とはどんな心か。で温かい励ました。過ちを一度と繰り返してはいけないで過ちを二度と繰り返してはいけないでもでの生活の中で、自分の心の弱いでもでの生活の中で、自分の心の弱いでしまったことや、打ち勝ったことはないだろうか。で、生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがあるに対したことがある。			・おばあさんをごまかして後悔の念が	付かせる。(共感,批判
展 が立ったから ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし・過ちを二度と繰り返してはいけない・温かを振り返り、自分の生き方を見つめる。 り、自分の生き方を見つめる。 ・先生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある ・おばあさんが私にくれた心とはどんないなの向上に努いる作者の気持ちないのものののようではないだろうか。 ・先生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある。			残っていたから	の立場からそれぞれ意
展開 ・おばあさんに対する「本当に悪かった」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私にくれた心とはどんな心か。・温かい励まし・過ちを二度と繰り返してはいけない・過ちを二度と繰り返してはいけないっまでの生活の中で、自分の心の弱さに負けてしまったことや、打ち勝ったことはないだろうか。・先生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある。(ワークシートに記入る)			・甘い考えで,過ちを犯した自分に腹	見を出させたい)
展 た」という気持ちを忘れられなかったからおばあさんが私にくれた心とはどんな心か。 ・温かい励まし・過ちを二度と繰り返してはいけない・週の向上に努ったことと繰り返してはいけないったことはないだろうか。・先生や友達に注意されて、素直に認めないで人のせいにしたことがある。 ・プークシートに記入るのは、 (ワークシートに記入る) 自分自身に向けてある。 (ワークシートに記入る)			が立ったから	後悔の念はいつまでも
たから			・おばあさんに対する「本当に悪かっ	残り続けていることを
開 おばあさんが私にくれた心とはどん な心か。 ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない ・これから精一杯生きていってほしい っまでの生活の中で,自分の心の弱 り,自分の生き 方を見つめる。 ・先生や友達に注意されて,素直に認 めないで人のせいにしたことがある 過ちを悔い,謙虚にしている作者の気持ちる に取らせる。 (ワークシートに記入る) 自分自身に向けてある。 (ワークシートに記入る)	展		た」という気持ちを忘れられなかっ	自覚させる。
な心か。 ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない ・これから精一杯生きていってほしい っまでの生活の中で,自分の心の弱 さに負けてしまったことや,打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認めないで人のせいにしたことがある			たから	
・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない ・これから精一杯生きていってほしい っまでの生活の中で、自分の心の弱 り、自分の生き 方を見つめる。 ・先生や友達に注意されて、素直に認 めないで人のせいにしたことがある ・温かい励まし ・過ちを二度と繰り返してはいけない (ワークシートに記入する) 自分自身に向けてする。 (ワークシートに記入する)	開		おばあさんが私にくれた心とはどん	過ちを悔い ,謙虚に反省
・過ちを二度と繰り返してはいけない じ取らせる。 ・これから精一杯生きていってほしい 今までの生活の中で,自分の心の弱 さに負けてしまったことや,打ち勝ったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認 めないで人のせいにしたことがある る)			な心か。	し ,自己の向上に努めて
・これから精一杯生きていってほしい (ワークシートに記入: 今までの生活の中で,自分の心の弱 る) はに負けてしまったことや,打ち勝 自分自身に向けてまったことはないだろうか。 ・先生や友達に注意されて,素直に認 のないで人のせいにしたことがある る)				いる作者の気持ちを感
3 自分を振り返り つまでの生活の中で、自分の心の弱り、自分の生きり、自分の生き方を見つめる。 つまるとはないだろうか。 つまるとはないだろうか。 ・ 先生や友達に注意されて、素直に認りないで人のせいにしたことがある る)			・過ちを二度と繰り返してはいけない	
り、自分の生き さに負けてしまったことや、打ち勝 自分自身に向けて表		2 2745		(ワークシートに記入させ
方を見つめる。 ったことはないだろうか。 させる。 ・先生や友達に注意されて,素直に認 (ワークシートに記入る) めないで人のせいにしたことがある る)			今までの生活の中で,自分の心の弱	*
・先生や友達に注意されて,素直に認 (ワークシートに記入る) めないで人のせいにしたことがある る)		· ·	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	自分自身に向けて考え
めないで人のせいにしたことがある る)		万を見つのる。		-
・見たいテレビがあったが,テスト勉				る)
強をせねばと我慢して取り組むこと				
ができた				
1 45	終	4 詩を読む。		模造紙による提示をす
~				_
			の人」を。	『にんげんだもの』によ
末 る引用。	木			る引用。

実践報告にみる留意事項

1 資料・題材について

本資料は,道徳の副読本によく取り上げられてきたいわば名作に当たる話である。 現代とは時代背景が異なるが,人間が持つ 良心と取り返しのつかない後悔をしてもな お前向きに生きようとする主人公の姿は, 現代を生きる子どもたちにも是非ふれさせ たいものである。また,「ふんばりなさい よ。」という,嘘を知ってか知らずかの大福 売りのおばあさんの言葉は,主人公の生き 方に大きな影響を与えた。一生に一人はみ つをの詩とともに己の弱さを克服しようと する心情をじっくり味わわせたいと考えた。

2 指導過程の工夫

主人公の「足袋がどうしてもほしかった。」という気持ちを理解させるには、当時の様子や背景をある程度つかませる必要がある。そこで導入では実物の足袋を見せ、生徒の興味付けを図った。また、資料を読んだ後、1920年代、北海道の様子などの説明を多少加えた。展開では、主人公の気持ちに共感し、自分を振り返るよう段階を追って発問を組み立てていった。終末の詩『その人』(相田みつを)を紹介することにより、自分の生き方を振り返り、これからをじっくり考えることができた。

3 発問の工夫

このように時代背景が違い,主人公の気 持ちにじっくり共感していくタイプの資料 では段階を追っていく発問は効果的だった。 また,発問の合間に教師のそれぞれの経験 談などを織り交ぜたことで,主人公の気持 ちをより身近に感じさせることができた。 展開後の自分を振り返る発問は,心の弱さ に負けてしまったという聞き方だけでは思 いを出しにくいであろうと考えて,弱さに 打ち勝った経験も併せて尋ねるようにした。

4 生徒の反応

発問一つ一つに積極的に答えるのではなかったが,指名をして何人かの生徒の意見を聞く中で,教室全体がともに考えていく雰囲気になっていった。

- ・おばあさんの一言はすごく重かった。だ からこそ自分の弱さに勝てたと思う。
- ・ 普通の優しさもよいけど,今日の話み たいに心と心の中でわかるだけの優し さもよいと思った。
- ・ 自分の弱い心に負けたこと,勝ったことといっても,自分では思いつかないけど,この話を聞いて毎日弱い心に負けているんじゃないかなと思った。
- 自分がいけないことをした時に、「いけなかったなあ」と思えるようになりたい。

5 授業後のフォローアップ

生徒の意見や思いをすべて交流するのは 難しかったが,授業後に教室に掲示したり, 学級通信などで紹介したりした。相田みつ をの詩『その人』は,授業で使った模造紙 に書いたものを生徒の目によく触れる廊下 に掲示した。

(吉田中学校)